

民主化闘争情報

No. 949
2017年2月21日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

JR東労組は、2月15日、「業務部速報 NO.76」を発し、「申15号2017年度賃金引上げ等に関する申し入れ」を行い、「組合員の基本給一律6,000円引き上げなどの賃金引上げと回答時期を3月15日とする要求」を行ったことを明らかにした。

ストライキ権を行使するの？しないの？ 臨時大会は“茶番劇”だったの？

関係者からの情報によると、JR東労組は、2月10日に開催した「臨時大会」において、吉川委員長は、冒頭の挨拶の中でストライキを回避する旨の発言を行った模様。この情報が正しいとすると、ストライキ権の確立を威勢よく掲げていたJR東労組は、会社に要求書を申し入れする前に、会社との間で「定額ベア」を約束し、ストライキを回避したということになる！？

だからこそ、JR東労組は、「業務部速報 NO.74 (2月8日)」の中で、「平成29年度のベースアップの実施にあたっては格差ベアではなく『定額ベア』を実施する」を「確認」と表現していたと思われる。

JR東労組は、中央委員会・臨時大会で春闘方針を決定する前に、そして、要求書を出す前に、すでに会社と内々に「定額ベア」を約束したようだ。このようなJR東労組とJR東日本会社の労使関係も正常とは言いがたい。

また、JR東労組は「格差ベアを巡る『労使間の紛争状態』は継続している」としている。関係者からの情報によると、臨時大会で代議員による投票を行い、賛成多数だったとのこと。ストライキ権を回避したにもかかわらず、いったい何のための代議員による投票を行ったのか？まったく不可解極まりない。

全組合員の一票投票を行い、臨時大会までも開催したということだが、JR東労組は本当にストライキを回避したんでしょうか？ 何のために代議員による投票を行ったんでしょうか？ ストライキ権を確立したんでしょうか？

JR東労組はまったくホームページなどで何も公表していない。この一連の動きは、すべて“茶番劇”だったのか。すべて中身の無い見せかけだけのまやかしに過ぎなかったのだろうか、組合員不在のまったく理解しがたい動きである。

14日に春闘要求を申し入れしているが、JR東労組はこれから労使でどんな交渉をしようとしているのか…。

**JR東労組の組合員の皆さん、JR東労組執行部の
組合員不在の運動に見切りをつけませんか！**